企業・団体名（　株式会社オーナメント依田　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	雇用・教育・昇進・福利厚生等あらゆる雇用条件・就業において差別していない					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメント（セクハラ・パワハラ・マタハラ等）禁止を就業規則に明記している ハラスメントの相談窓口を設置している　□ハラスメントの相談窓口を設置予定					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	労働基準法について理解している 労働生産性の改善に取り組んでいる 労働時間を把握・管理している 勤務体制の整備などを行っている リモートワークやシフト勤務等、多様な働き方ができるよう整備・対応している								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	外国人労働者の差別・人権侵害を行っていないことを経営者が確認している 外国人労働者・技能実習生への適切な処遇・労働環境を整えている				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	安全な職場環境維持のため、社内での声がけ等を実施している			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	社員へのフォローを心掛け、メンタルヘルスの良い職場環境維持に努めている			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	多様な人材（女性・外国人・障がい者・高齢者等）が活躍できる制度を整えている 多様な人材が活躍できるよう、適正にあった業務を整備している					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行っている			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	資格取得の推奨をしている 資格取得・外部研修受講に対する補助を行っている				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	パートタイム労働法・労働契約法について理解している 同一労働同一賃金を理解し、待遇の差の有無・状況を把握している 待遇の差が生じている場合、解消に取り組んでいる、取り組む努力をしている								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物量を把握している											○	○		○							
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	エネルギー使用量を把握している							○						○								
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	温室効果ガス排出量の把握を検討している							○					○	○								
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	排出有害廃棄物量の把握を検討している			○			○					○	○									
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	事業活動における、生態系への影響の把握を検討している						○									○						
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	自社の水の使用量を把握している						○															
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○						
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○									
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○								
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	非合法材を使用していない。使用していないことを確認している												○	○	○	○						
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	生産現場での資源利用の削減・再利用・再資源化に取り組んでいる						○					○	○	○	○	○						
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	経営層がコンプライアンス遵守の重要性を認識し、社員に促している																	○				
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不正競争行為を禁止している																	○				
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	知的財産を侵害しないよう適切に事業活動を進めている								○	○												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	「個人情報に関する基本方針」を定めている 「個人情報に関する基本方針」を公表している																	○				
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	自社において紛争鉱物の取り扱いを行っていない 取引先・関係先において、紛争鉱物の取り扱いがないことを確認している 将来にわたって、紛争鉱物は取り扱わないことを社内に周知している																	○				
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを検討している			○									○												
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを検討している									○														
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○								
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	自社の事業が地域に及ぼす影響の把握を検討している				○					○		○	○		○	○								○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会					○							○			○	○								○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○										
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	法理遵守の重要性を認識し、社内に伝えている																					○		
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	経営目標を社内に共有している								○	○														○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	法令遵守（コンプライアンス遵守）について、方針・手順を作成している																					○		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																						○		
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	自社におけるリスク（法令遵守・環境安全衛生・労働環境…等）を特定している																					○		
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																						○		
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																						○	○	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○								○		

43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17